



contents

教育学部 教員採用試験結果報告	01
教員採用試験合格者インタビュー	02
公立幼稚園・保育所合格者インタビュー	04
就職内定状況報告	05
キャリア開発課の取り組み	06
クラブ活動成果報告	07
学生イベント	08
「シミュレーションルーム」リニューアル	09
学生駐車場・サイクルポート完成	09
教育懇談会実施報告	10
ひとくちメモ	10
編集後記	10

教育学部 教員(小学校教諭)採用試験合格者インタビュー

生活リズムを整え、苦手な教科の問題を必ず毎日1つは解くことを徹底していました

解ける問題が増えていくことで、勉強することが楽しいと思うようになりました。面接は苦手意識がなかったので、自分の考えをしっかりとつことを意識し、模擬授業対策では、先生とマンツーマンで毎日練習していました。その中で先生から「見通しを持つ」ことを教えていただき、計画を立てて行動していくことの大切さを学びました。また、災害ボランティアにも参加し、初めて見た目の前の光景の中で、前をむいて進んでいくことの大切さを実感することができました。子どもとの心の距離が近く、信頼される先生をめざしたいと思います。



宮田 湊奈さん
(広島県合格)
兵庫県 高砂高校出身

この大学に入学したから小学校教諭をめざしました

私は2免許1資格の取得をめざして頑張ってきました。他の学部や違う学年の友人もでき、より充実した大学生を送ることができました。採用試験対策では、多くの先生方へ、面接や模擬授業の対策をしていただきました。その際のアドバイスを思い出し、試験本番は落ち着いて臨めたと思います。子どもたちが思いやりの心を持ち、互いに尊重し合うことができるような学級を作りたいと思います。子どもたちがもっている可能性を1つでも多く引き出すことができるような先生になりたいです。



松尾 咲和さん
(岡山市合格)
岡山県 岡山芳泉高校出身

採用試験に向けて、いかに効率よく勉強を行っていくかということを考えました

ポイントを絞るなどして、時間の有効活用に重点を置きながら採用試験対策に取り組みました。心が折れそうになった時、先生から「逃げてもいいよ」という言葉をかけてもらったことで、自分を俯瞰的に見ることができ、とてもありがたかったです。大学生活では、部活動を通して、人間性に関することを学び、ボランティアでは人の温かさに触れることができました。これからは、先生として、学校生活が楽しいと思う子どもたちを育てていきたいです。そして、子どもに夢を持つ素晴らしさを伝えられる先生になりたいです。



澤 大貴さん
(鳥取県合格)
鳥取県 岩美高校出身

1次試験から2次試験の模擬授業や面接対策をしていました

面接対策では、内容だけでなく話し方や問の使い方、強弱や抑揚など自分では気づかないところも教えていただきました。私は、模擬授業を行う際、一方的に話すのではなく、児童の様子を見て対応するように心掛けていました。教育実習の際にそのことを褒めていただき、とてもうれしかったです。子ども1人ひとりを認めることができ、良いところ、悪いところも認め、その児童の可能性を伸ばせる先生になりたいです。



中崎 純奈さん
(岡山県合格)
岡山県 瀬戸高校出身

1次試験対策は、参考書を中心に自分の苦手なところをなくしていききました

いろいろな都道府県の過去問、希望する自治体の過去問を解き、問題の傾向と対策を行っていききました。2次試験対策は、面接、模擬授業、小論文、グループワークの練習をゼミの先生や友人と行いました。教育実習で先生としてのやりがいにふれ、子どもたちの成長を見られたことで、「先生になりたい」というモチベーションに繋がりました。子どもたちにはそれぞれ必ず良いところがあります。それを認め、伸ばしていける先生になりたいです。



土田 武海さん
(鳥取県合格)
兵庫県 赤穂高校出身

採用試験の勉強は、ゼミの仲間と学び合うことで苦手な勉強も楽しみながら取り組むことができました

ゼミの仲間と共に「どんな先生になりたいか」など話し合ったことも面接や模擬授業に活かすことができました。大学生活では、大学祭実行委員やオープンキャンパススタッフなど多くの人と関わる機会を得たことで、何事にも積極的に取り組み、協調性を育むことができました。ゼミの先生の「チャンスは全員に平等ではなく、努力した分だけやってくる」という言葉を胸にチャンスを得るために行動することで、人としても大きく成長できたと思います。私は、子どもたちが「新しいことを学んでうれしい」と思えるような分かりやすい授業を展開し、「この学級の一員でよかった」と感じてもらえる活動をたくさんしていきたいと思っています。



BO VO HOANG KHA さん
(高知県合格)
兵庫県 太子高校出身

毎日5時間勉強すること、同じ問題集を3回は解くことを徹底して行いました

私は誰かと一緒に勉強すると絶対に話してしまうし、手が止まってしまうので、図書館など静かな環境で勉強に取り組んでいました。実技や面接対策は、ゼミの先生が時間を設定してくださり、集団面接の指導などをしていただきました。教育実習では特別支援学校や小学校、介護等体験を通して、意思表示ができてにくい子どもたちの表情を読み取る力や、元気いっぱいの子どもの注目の仕方など、様々な子どもと過ごすことで教え方、関わり方の違いを実感しました。私は、子どもに自信をつけてあげられる先生、1人ひとりの良さを引き出すことができる先生をめざしたいと思います。



野田 朋花さん
(福岡県合格)
福岡県 福岡女学院高校出身

模擬授業や面接などは自分自身だけでなく、友人と比較して様々な視点で考えることを意識しました

1次試験が始まり、なかなか良い結果が出ず諦めかけていた時、ゼミの先生から「頑張りを見ていたよ！チャンスは諦めなかった人にしか訪れない」と言っていただき、モチベーションが上がりました。ゼミの先生との出会いで苦手意識のあった勉強を克服することができ、採用試験を通して、自身の性格・長所・短所といった特徴が分かり、「自分を変えよう」と思ったことも自分の中では大きな変化でした。これまでの自分自身の体験も子どもたちに伝えていきたいです。そして、子どもたちから憧れられる先生になりたいです。



須多 絢平さん
(広島県合格)
和歌山県 初芝橋本高校出身

教育学部

教員採用試験結果報告

2021年度に実施された公立学校教員採用試験について、小学校は1次試験合格者87名、最終合格者48名、中学校(保健体育)は1次試験合格者10名、最終合格者2名、養護教諭は1次試験合格者14名、最終合格者4名と、多くの学生が志を果たしました。

とくに1期生が4年生となった保健教育学科においては、初めての採用試験でしたが、学生の頑張りや教員の大きなサポートで合格者を輩出できました。

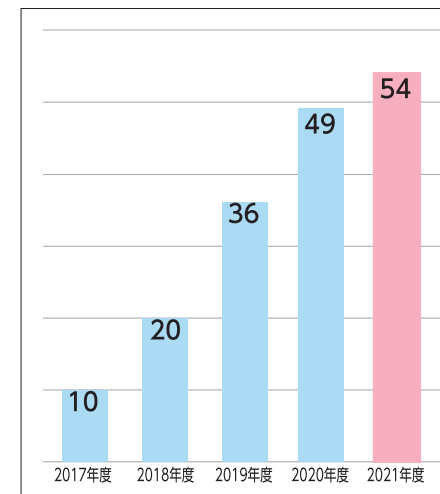
東京アカデミー等の学外講師による各種講座を学内で受講できるだけでなく、勉強会「志塾」での各種対策講座、学科教員が行う人物試験や模擬授業対策の勉強会、模擬試験の受験料補助、学習ステーションの各講座など充実したプログラムを展開しています。

また、卒業後に教員となる4年生を対象に、加藤学長が学級経営や授業の仕方のノウハウを指導する特別講義を行い「先生」をめざす学生の志を叶えるためのサポートに取り組んでいます。

自治体別合格者数

自治体名	合格者数
神戸市	1
和歌山県	3
岡山県	4
岡山市	1
鳥取県	11
広島県・市	10
愛媛県	5
高知県	3
福岡県	8
佐賀県	2
長崎県	1
熊本県	1
北海道	4

年度別合格者数推移



教育学部 公立幼稚園・保育所合格者インタビュー

充実した施設のおかげで技術を磨けた

私はピアノがとても苦手でしたが、練習に励みました。関西福祉大学はピアノ練習室があり、自由に使うことがありがたかったです。ピアノ練習室があるおかげでたくさん練習ができ、弾ける曲が多くなりました。また、ボランティアで、図書館の読み聞かせや障がいをもつ子どもと保護者の方を対象とした「まめっこ」、親子交流行事など実際に子どもと関わる機会も多くありました。面接や実技対策では、先生方にたくさんご指導いただき、自分の長所を教えていただいたおかげで自信をもって本番に臨むことができました。私は、子どもが困っていることがあれば、保育者にSOSを出せる関係が良いと思っていますので、子どもと信頼関係を築き、子どもに寄り添い、子どもが楽しいと感じて生活を送れる保育ができる保育者になりたいです。



土家 優希さん

(兵庫県丹波篠山市(保育士)合格)
兵庫県 柏原高校出身

いろんな人の支えがあって最後までやり遂げることができた

目標を毎日達成していくと共に知識も身に付き、少しずつ自信がついてきました。ピアノが苦手でしたが、保育士になるために練習を重ねました。先生方から「毎日一生懸命ピアノの練習しているね」「あなたならできる、大丈夫」などの言葉をかけていただき、両親も「何も心配していないよ」とどんな時も私を信じて支え続けてくれたことで、最後までやり遂げることができたと感謝しています。大学で学んだ、年齢ごとの発達の特徴やボランティアでの子どもたちとの接し方は、保育所実習で実践することができました。これからは今後の現場で活かしていきたいと思います。そして、子どもの気持ちに寄り添い、育ちを支えられる保育者になりたいです。



立石 彩華さん

(岡山県和気町(保育士)合格)
岡山県 津山東高校出身

多くの先生方にサポートしていただいたおかげ

私は専門試験が苦手だったため、一般教養やSPIなどで受験できる公立園を受験しました。多くの先生方に面接練習をしていただき、アドバイスをいただきました。西日本豪雨被災地ボランティアに参加したことで、初めて被災地というものを目の当たりにし、支援すること、人の役に立つことへのやりがいも感じることができました。また、先生からは、「人と人を引っ付けるボンドのようだね」と言っていたとき、私の周りにはいつも人が集まり、充実した大学生活を送ることができたと思います。自分自身が憧れた保育園の先生のように大きくなって「あの先生が良かったな」と思ってもらえるような存在になりたいです。



岡 若菜さん

(岡山県西栗倉村(保育教諭)合格)
兵庫県 琴丘高校出身

本当にやりたいことをとことんやってきた

面接対策はキャリア開発課の方に指導していただき、同時に友人にも意見を聞き、参考にしました。昔から両親に「本当にやりたいことをとことんやっていきなさい」と言われて育ってきました。今回の受験も「あなたなら大丈夫!」と背中を押してもらい、自信をもって臨むことができました。大学の授業は、先生方が現場で実際にあったエピソードを絡めてお話をしてくださったので、内容も分かりやすく、とても参考になりました。そのおかげで実習の際に内容を思い出しながら、子どもたちの発達に沿った保育をすることができました。子どもたちの発する様々な気持ちを受け止めていくことで、子どもたちが園での生活を自宅と同じように安心して過ごすことができるように支えていきたいと思っています。



安井 ひかりさん

(岡山県瀬戸内市(保育士)合格)
岡山県 就実高校出身

苦手なピアノを克服!努力が結果につながる

教養や小論文対策は自分ひとりで勉強できますが、実技(ピアノ、リズム表現、模擬保育)はそれぞれ専門の先生にお願いし、何度も練習しました。また、授業以外にも、赤穂市立図書館でのおたのしみ会や、障がいをもつ子どもと保護者の方を対象とした「まめっこ」などボランティアを通して、事前の準備や計画、練習の大切さを学びました。また、先輩方の動きや接し方などは、実践するうえでとても勉強になりました。赤穂市内の幼稚園での実習は、毎日楽しく、何より先生方が私を実習生としてではなく、1人の先生として扱ってくださり、温かく指導してくださいました。実習中に「また一緒に働こうね」と言ってくださったことがモチベーションアップにつながりました。子どもたちにとって、幼稚園や保育所は安心できる場所であることが一番です。そんな環境を整えること、そして何より先生である私が子どもたちにとって安心できる大人でありたいです。一緒にいっぱい楽しんで、共に成長していければいいなと思います。



深尾 玲名さん

(兵庫県赤穂市(保育士)合格)
兵庫県 相生産業高校出身

「やってみる!挑戦する」ことで自信につながる

面接や実技対策は、多くの先生方にご指導いただき、励まされながら頑張りました。先生からは、「やってみる・挑戦する」ということに意味があると言っていたとき、大変なことを乗り越えたことで、自分の自信につながったと思います。大学では、障がい児保育の学びや発達障がいのある子どもとその保護者向けイベントにボランティアで参加したり、福祉大学ならではの学びから「保育者として子どもや保護者とうる関わっていくのか」というビジョンが明確になりました。子供1人ひとりの想いに寄り添い、安心感を伝えることで、子どもたちが自発的に伸び伸びと成長していけるような環境を作っていきたいと思います。子どもと保護者にとって安心できる保育者になりたいと思います。

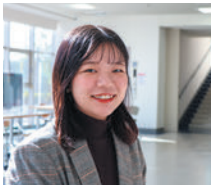


喜多村 美咲さん

(兵庫県姫路市(保育士)合格)
兵庫県 赤穂高校出身

先生のサポートで諦めずに頑張れた

先生方に集団・個人面接対策を何度もしていただきました。また、優柔不断な私に、先生方が「あなたのペースはあなたにしかない魅力だから自信をもって」と声をかけてくださり、自信をもって最後まで諦めずに頑張ることができました。実技対策では、過去の実演内容をもとに課題を出していただき、練習した内容が試験に出たこともあり、とてもありがたかったです。模擬保育で子ども役になることや保育者を経験することで、自分では思いつかない発想や意見を周りからもらい、自分の保育観が成長しました。保育実習で体験したように子どものやってみたいと思うことを大切にできる保育士になりたいです。



寺坂 彩葉さん

(兵庫県姫路市(保育士)合格)
兵庫県 赤穂高校出身

地域の子どもたちとの触れ合いで成長できた

先生方やキャリア開発課の方に面接指導をしていただき、自信をもって面接試験に臨むことができました。また、先生方だけでなく、母親にも支えてもらいました。結果が出ず、諦めてしまいくることが何度もありましたが、元気になれるよう声をかけてくださり、お弁当を作ってくれたり、試験の日も必ず見送りをしてくれました。感謝しています。ボランティアでは、夏休み宿題教室に参加し、地域の小学生と工作をしました。その経験を通して子どもたちに分かりやすい言葉で説明することの難しさ、子どもたちと関わることの楽しさ、準備することの大切さに気付くことができました。大学での様々な学びや気づきを忘れず、子どもや保護者にとって心強い保育者になりたいです。また、卒園してからもずっと思い出してもらえよう保育者をめざしたいです。



小畑 歩佳さん

(兵庫県たつの市(保育士)合格)
兵庫県 琴丘高校出身

教育学部 教員(保健体育教諭・養護教諭)採用試験合格者インタビュー

保健室が子どもたちの安心できる場所となるよう日頃から笑顔でいる

2年生の10月に受けた模擬試験の結果はオールE判定。このままでは駄目だと思い、そこから気持ちを入れ替え本格的に勉強を始めました。学習ステーションを利用したり、図書館で毎日過去問を解いたり、学内で実施される対策講座を全て受講しました。3年生はコロナの影響で大学に行くことができず、友人にも会えない期間が続いたのですが、同じ目標に向かってる友人とオンライン宿舎などをして継続的に勉強を続けていました。面接や実技指導などの採用試験対策は、学科を超えて児童教育学科の先生方にもご指導いただきました。また、1年生から続けている学童ボランティアも面接で役立ったと思います。保健室は、子どもたちが安心できる場所であるべきだと思っています。そのために、日頃から笑顔を手掛け、どんなに忙しい時でも子どもたちには余裕をもって接するようにしていきたいです。子どもたちにとって、一番話しかけやすい先生になりたいです。



今西 涼かさん

(愛媛県(養護教諭)合格)
愛媛県 新居浜西高校出身

子どもたちの小さな変化に気づき、成長を共に喜びあえる養護教諭に

試験で確実に解けるよう、毎週1週間のto do listを決めて繰り返し学習を心掛けました。笑顔で話すことや自己アピールが苦手でしたが、多くの先生方に面接指導をしていただき、何度も練習することで表情が変わっていくことを実感しました。その甲斐あって、面接でも小論文でも自分の意見をしっかり伝えることができました。ボランティアには1・2年生の時から積極的に参加し、様々な年齢の子どもたちと関わってきました。そのおかげで、面接での自己アピールにつながることもできました。また、友人と一緒に保健指導や救急処置の練習も重ね、実技の部分も自信をもって行うことができるようになりました。私は、まったく初めての土地で働くことになりましたが、新しい場所で、そこでの出会いを大切にしながら、街の魅力を知り、子どもたちと共に学んでいきたいと思っています。



大井 捺稀さん

(北海道(養護教諭)合格)
兵庫県 龍野高校出身

運動が苦手な子も体育が好きになれるような授業をしたい

保育園からサッカーをはじめ、中学まではサッカー選手になりたいと思っていました。高校生になり、友人から勉強を教えてもらう中で、友人の教え方がすごく分かりやすく、理解しやすかったことをきっかけに、なんとなく「教師」をめざしたいと思い、教育学部への入学を決めました。大きな転機は教育実習でした。実習では、1人ひとりを気にかけていることが伝わるような関わり方を意識し、空いている時間に積極的にコミュニケーションを取るよう心掛けました。3週間という短い期間でしたが、生徒からも信頼されていると感じられ、生徒の成長を感じることで、「もっとこの子たちと関わりたい!成長を見たい!」と強く思うようになり、本気で教員をめざすことに決めました。スタートが遅くなりましたが、3年生から教員採用試験の勉強に取り組みくることができました。むしろ教員になりたい気持ちが勝っていたので、ゼミの先生の方と一緒に、勉強の仕方を教えていただいたり、面接指導などをしていただき、図書館でひたすら勉強していました。今思えば、「心理学」関係の授業は、教員採用試験にとても大事だったなと思います。今の子どもたちは運動が苦手だと思っている子が多いので、体育が好きになれるような授業を展開していきたいと思っています。



中屋 文太さん

(高知県(保健体育教諭)合格)
香川県 英明高校出身

生徒があきない面白い授業、スポーツが苦手な生徒も楽しめる授業を工夫したい

私自身が私立高校出身ということもあり、学校独自で教育を推し進めていけることや、最新の設備を整えているところ、そしてずっと続けてきたサッカーの指導者もできるということから私立学校教員に魅力を感じていました。私は、大学での4年間、常に「どうすれば大学に貢献できるか」を考えてきました。また、オープンキャンパスでの学生スタッフや先生から依頼されたことなどでは自ら積極的に行動し、サッカー部ではC1チームのキャプテンを務め、人を動かす立場として、自分がまず手本となるよう行動してきました。これらの大学での学び、活動、実習などから、コミュニケーションの工夫やどう人と関わっていくかなど、学生として成長することができたと思います。教員としてはこれまでの経験を活かして、生徒があきない面白い授業づくりや、スポーツが苦手な生徒でも楽しめる授業づくりを工夫していきたいです。また、大阪はサッカー激戦区でもあるので、勝つためのチーム作りをしていきたいと思っています。



中尾 未来さん

(羽衣学園中学校・高等学校(保健体育教諭)内定)
大阪府 金光大阪高校出身

保健教諭免許と養護教諭免許の2つの免許を活かしたい

私は、4年生6月の教育実習後に、「やっぱり教員になりたい!」と思い、そこから教員になる道を探していきました。教員募集の情報が履歴書添削は大学のキャリア開発課にお世話になりました。面接対策では、面接を受ける姿勢や心構え、話し方の指導などを何度もしていただきました。おかげで、面接本番もスムーズに乗り切ることができました。保健体育教諭と養護教諭の教育実習、介護等体験など様々な教育実習を経験したことは、卒業後の進路を決定するうえでもポイントになったと思います。また、コミュニケーションの取り方や人との接し方、さらに大学バレーを通じて、自由と責任の重さを学びました。受け身で行動していた私が、自ら行動するようになったことも大きな成長だと思います。保健体育教諭として採用していただきましたが、養護教諭免許も取得予定なので、2つの免許を活かした仕事をしたいです。また、生徒1人ひとりに向き合い、個別の変化などにも気づいてあげられるような先生になりたいです。



中島 明日香さん

(学校法人松本学園 広島桜が丘高校(保健体育教諭)内定)
兵庫県 太子高校出身



キャリア開発課の取り組み（1～3年次生向け）

キャリア開発課では、就職活動に必要な情報・知識の伝達だけでなく、体験を通して職業理解や自己理解を深められるように1年次から学内外で様々な支援プログラムを実施しています。

大学では、ボランティアやアルバイト等で自分と異なる世代の方々と関わる機会が多くなります。そのため、1年次では大学での学びに必要な基礎マナー講座、2年次では実習やインターンシップ、就職活動などで役立つ応用マナー講座を実施し、学生たちが多様な体験の場に出ていくことを後押ししています。



また、各学科のキャリア教育科目と連携して卒業生を中心に職業人の講演を聴く機会や交流会、職場見学等を実施し、社会に出て働くことについての理解や自分にあった職業・職場について考える機会を設けています。

そして、3年次では就職ガイダンスや分野別セミナーと、これに連動した学内職業研究会や学外合同企業説明会に参加するバスツアー等のイベントも複数回実施しています。この体験型イベントは早期化する採用活動に合わせて1・2年次生の参加も可能としており、特に公務員などの早期から試験対策が必要な分野を希望する学生に対して、学内の公務員試験対策講座や模擬試験を受ける意欲に繋がっています。そして、どの学生がどんな進路を希望しているのか、どのプログラムに参加したのか、などの情報をアカデミック・アドバイザーと共有し、学生の進路実現に向けた個別サポートに繋がっています。



就職活動の際には保護者の皆様のご家庭でのご支援も重要になってきます。大学ホームページにて「保護者のための就活ハンドブック」（文化放送キャリアパートナーズ）を公開しております。学生の成長を見守ってこられた保護者として、また社会人の先輩としてご支援いただく際の一助となれば幸いです。

「保護者のための
就活ハンドブック」
はこちらからご覧
いただけます。➡



4年次生

就職内定状況ご報告

現4年生の就職内定率は4学科全体で91.8%（2022年1月末現在）となり、大学生就職内定率83.0%（2021年12月1日現在/文部科学省・厚生労働省調査）と比較しても高いペースで進捗しています。これは、アカデミック・アドバイザー（ゼミ担当教員）とキャリア開発課が綿密に学生の状況を確認・共有し、個別の情報提供や指導を徹底して実施してきた成果だと考えています。

実際に4年生332名に対して、今年度キャリア開発課で実施した模擬面接は422件、応募書類の添削や個別指導等を含めた面談は546件で、全学生の状況を把握することができています。

現在も、就職率100%の達成を目標に、教職員が連携して未内定の学生への進路・就職支援に取り組んでいます。

■就職内定状況（2022年1月26日現在）

学 科	卒業 予定者数	就職 希望者数 (除:進学希望者)	就職 内定者数	就職 内定率
社会福祉学科	89	85	80	94.1%
看護学科	98	95	94	98.9%
児童教育学科	76	75	71	94.7%
保健教育学科	69	63	47	74.6%
合 計	332	318	292	91.8%



クラブ活動成果報告

陸上競技部



初の全日本インカレ出場・関西インカレ入賞

8月に行われた第1回学連競技会 女子4×100mリレーにおいて、全日本インカレ参加標準記録を見事突破し、創部以来初となる全日本インカレ出場権を獲得しました。

また、個人競技でも各種大会で好成績を収めており、第98回関西学生陸上競技対校選手権大会では、女子1部 走幅跳で鹿野日陽南さん(保健教育学科1年 長良高校出身)が第7位と創部以来初の関西インカレ1部入賞となりました。

硬式野球部



1部昇格は逃すも創部以来初の2部優勝

阪神大学野球連盟2部西秋季リーグ戦において7勝2敗(優勝決定戦含む)で優勝、2部東リーグ優勝校との入替戦出場決定戦を2勝1敗で突破し、1部校との入替戦に臨みました。

1勝1敗で迎えた第3戦は延長戦まで持ち込むも惜しくも敗れ、初の1部昇格とはなりませんでした。創部以来初の2部優勝という新たな歴史を作ったシーズンでした。

女子バレーボール部



初の1部昇格

4年前の2018年に関西大学バレーボール連盟7部から再スタートを切った女子バレーボール部がストレートで1部昇格を決めました。

7部からリーグ戦無敗で昇格を続け、今季も2部リーグ戦を10勝0敗で全勝優勝、1部校との入替戦にも勝利し、目標としていた最短4年での1部昇格を見事達成しました。

また、国民体育大会兵庫県予選大会に優勝(三重国体はコロナ禍により中止)、近畿6人制バレーボールクラブ男子・女子選手権大会に関西福祉大学ウェルフェアリーズとして出場し、見事に優勝を飾りました。

男子バレーボール部

惜しくも1部昇格は逃すも悲願の2部優勝

関西大学バレーボール連盟男子2部秋季リーグ戦において開幕から7連勝で全勝優勝を果たしました。1部校との入替戦には惜しくも敗れ1部昇格とはなりませんでした。2部に昇格してから6年間、毎年善戦するもあと一歩のところで優勝を逃してきたチームにとって悲願の初優勝となりました。



サッカー部



創部以来初の全国大会出場と3年ぶりとなる1部復帰

8月には創部以来初となる全国大会 総理大臣杯全日本大学サッカートーナメントに出場し、ベスト16という結果を残しました。全国大会での経験と日々の練習の成果もあり、関西学生サッカーリーグでも通年で15勝6敗、第2位という好成績を残し、3年ぶりとなる1部復帰を決めました。

また、1リーグに4チームが参戦しました。そのうち1チームがブロックリーグを突破し、こちらも創部以来初となる年間総合優勝チーム決定戦に進出しました。惜しくも年間優勝とはなりませんでした。が、チーム全体が力をつけてきたことを実感できるシーズンとなりました。

オンライン大学祭

第25回 汐風祭 開催



昨年は、コロナ禍の影響で開学以来初の中止となってしまうた大学祭「汐風祭」が、オンライン大学祭として復活しました。

今年度もコロナ禍の影響で開催が危ぶまれましたが、

大学祭実行委員長の山口永遠君(児童教育学科 2年生)と執行部メンバーが中心となり、試行錯誤しながら初となるオンライン大学祭を成功させました。

当日は、動画サイトでのライブ中継で、実行委員長の挨拶でスタートし、ロック研究会の演奏披露、テレビ番組のようなクイズ企画もあ

りました。そして、目玉企画として、在学生の魅力を発信する企画「自分の魅せ方を知る」では、男女6名の学生がファッションや特技を披露しオンライン上で人気投票を行いました。

企画・準備の段階からコロナ禍の影響を受け、活動が思うように進まないこともありましたが、学生同士がWeb会議をしたり、準備や作業を少人数で担当できるような割り振りをしたりと工夫しながらやり遂げられたことは、非常に良い経験になりました。



クリスマスイルミネーション in KANPUKU



12月20日に学友会運営委員会と大学祭実行委員会が運営する「クリスマスツリー点灯式&ビンゴ大会2021」が開催されました。

学友会運営委員会が中心となり、コロナ禍の一日も早い終息と医療従事者の方々への感謝の気持ちを込めて企画しました。当日は、赤穂市内の小中学生やその保護者の方、授業終わりの学生などが見守る中、きれいなクリスマスツリーが点灯され、人々の目を楽しませました。

点灯式に先駆け、赤穂市内の小中学生と一緒に学内に設置するクリスマスツリーの飾り付けを行い、こちらも多くの小学生が参加してくれました。

また、点灯式後に行われたビンゴ大会では、大小さまざまな景品をかけて大いに盛り上がり、惜しくもビンゴに外れた小学生には、お菓子のつかみ取りに挑戦してもらい、参加した小学生には一足早いクリスマスプレゼントとなりました。

- 開学：平成9年(1997年)4月
- 開設：(社会福祉学研究科修士課程)平成21年(2009年)4月
(看護学研究科博士前期課程)平成24年(2012年)4月
(看護学研究科博士後期課程)平成29年(2017年)4月
(教育学研究科修士課程)平成30年(2018年)4月
(発達教育学部)平成26年(2014年)4月
(教育学部)平成30年(2018年)4月(発達教育学部を名称変更)
(保健教育学科)平成30年(2018年)4月
- 学部・学科：社会福祉学部・社会福祉学科
教育学部・児童教育学科
教育学部・保健教育学科
看護学部・看護学科
- 大学院：社会福祉学研究科修士課程
教育学研究科修士課程
看護学研究科博士前期課程
看護学研究科博士後期課程
- 学長：加藤 明
- 教員数：専任(助手を含む)
社会福祉学部 16名
教育学部 27名
看護学部 33名
社会福祉学研究科(7名)
教育学研究科(9名)
看護学研究科(17名)
- 職員数：55名(派遣職員含む)
- 学生数：社会福祉学部 407名
教育学部児童教育学科 294名
教育学部保健教育学科 340名
看護学部 388名
社会福祉学研究科修士課程 6名
教育学研究科修士課程 4名
看護学研究科博士前期課程 2名
看護学研究科博士後期課程 11名
- 教員一人あたりの学生数：社会福祉学部 25名 教育学部 23名 看護学部 11名
- 卒業生数(学部)：累計5,572名
- 卒業生数(大学院)：累計63名
- 社会福祉士合格者数：累計1,661名(※累計人数は全て既卒者込み)
- 精神保健福祉士合格者数：累計315名
- 看護師合格者数：累計1,008名
- 保健師合格者数：累計471名
- 助産師合格者数：累計 13名

編集後記

2022年になり早1か月以上が過ぎました。年明けからまん延防止等重点措置が適用になり、今年も新型コロナウイルスに翻弄されるスタートとなりました。昨年もコロナ禍の中ではありましたが、誌面にも掲載しておりますとおり、各指定強化クラブが初の全国大会出場や初の1部昇格、初優勝など素晴らしい成績を収めてくれました。クラブだけでなく、一昨年は開催できなかった大学祭「汐風祭」をオンラインでのライブ配信という形で開催したり、学内のイルミネーション&ビンゴ大会を開催したりするなど、学生が中心となってコロナ禍の中でも実施できる形態や内容を試行錯誤しながら学生イベントを企画・運営することができて非常に印象に残る1年でした。

今年こそこのコロナ禍が終息し、学生たちが学びにイベントに部活動に思いっきり打ち込める1年になることを祈っています。

教育懇談会実施報告



例年、大学祭と同時開催としております本会主催の教育懇談会につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、今年度も昨年度に引き続きオンラインでの開催となりました。

学長挨拶、各学部・学科長による学部・学科の現状報告等につきましては、大学ホームページでのオンデマンド配信、毎年ご好評をいただいておりますご子女の担当教員との個別面談につきましては、オンライン会議システムを活用したリモートでの面談、電話やメールでの相談など例年とは大きく異なる形式での実施となりましたが、コロナ禍において大学の状況や今後の方針、対面授業再開後のご子女の状況等を会員の皆様にお伝えする貴重な機会としていただけたのではないかと思います。



学長挨拶・各学部・学科長による学部・学科の現状報告等は
上記のQRコードからご覧いただけます。
(パスワード:kusw20211001)

「シミュレーションルーム」リニューアル



8月にリニューアルされた『シミュレーションルーム』についてご紹介いたします。

看護学部では、これまで学内にある3つの実習室にて様々な演習や実習を実施してきましたが、高性能シミュレータ(人形)や模擬カルテシステム、ICT機器等を導入した『シミュレーションルーム』が追加されることにより、さらに臨床に近い学習ができるようになりました。

写真は、子どもを対象とした看護実習においてシミュレータを使用している様子です。この日は、脈拍・呼吸・体温などの測定方法や、測定結果をもとに子どものからだや病気のことを理解する方法、子どもやその保護者との関わり等について、シミュレータを通して学びました。

学生駐車場・サイクルポート完成

11月に学生駐車場とサイクルポートの整備が完了しました。

9月から工事を開始し、学生の皆さんには工事中はご不便とご迷惑をおかけしましたが、きれいに整備されました。学生数の増加に伴い手狭になっていた学生駐車場が整備されたことで利便性が向上しました。ご利用の際には、白線内に正しく駐車・駐輪する、決められた場所以外には駐車・駐輪しない等のルールとマナーを守って正しい利用にご協力をお願いいたします。

また、赤穂警察署から赤穂市内でも自転車の盗難が増えているとの情報もありますので、大学内であっても必ず鍵をかけるよう心掛けてください。

